

令和5年4月26日

保護者の皆さまへ

井原市教育委員会教育長 伊藤祐二郎

井原市立木之子中学校長 今井 浩

部活動の地域移行について

日頃から本市学校教育にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

これまで我が国においては中学生のスポーツ・文化に親しむ機会の多くを、学校が部活動を設置運営する形で確保してきました。しかし、少子化や学校の働き方改革が進む中で、学校単位の活動や教員が指導を行う現行の形での部活動の継続が困難となってきました。現状のままでは生徒がスポーツ・文化に親しむ機会が大きく減少してしまう恐れがあります。

このような背景から、学校の部活動に代わり地域においてスポーツ・文化に親しむ機会を将来にわたって確保・充実できるよう、国や県では部活動の地域移行を推進しています。

本市におきましても、生徒の少子化や専門でない教員が顧問をしている部活動が少ない現状から、現在中学校に設置している部活動の休日の活動について、その受け皿となる環境を段階的に整えることを当面の目標として、部活動の地域移行を進めていきたいと考えています。

そこで、令和4年度は部活動の地域移行の推進体制として、井原市スポーツ協会・井原市文化協会専門部の代表、保護者の代表、市内各中学校長を委員とした井原市部活動地域移行協議会を設置し、会合を2回開催しました。また、地域の活動団体の代表と市内各中学校の部活動顧問に集まっていただき専門部会を開催しました。協議会では地域移行の課題や方向性についてご意見をいただき、専門部会では担当者で休日の生徒の受け入れ等具体的な内容について協議を行いました。協議の中で、全ての部活動が一斉に地域移行することは現実的ではないことから、まずは地域で受け入れ先を確保できる部活動や部活動指導員の配置などにより段階的に休日の部活動を地域での活動に移行していくことが決まりました。

さらなる受け入れ先の確保や地域移行の具体的な内容の検討を進めるために、令和5年度も引き続き定期的に協議会、専門部会を開催し地域移行を進めていく予定です。

保護者の皆様におかれましても、生徒が将来にわたってスポーツ・文化に親しむ機会を確保するための環境整備についてご理解ご協力をお願いいたします。